

<平成 26 年度>

政策企画部の運営方針

企画課
秘書課
広報課

市民相談課
人権政策室

■基本情報■

<担当事務>

- (1) 市政の総合計画及び調整に関すること。
- (2) 行政評価に関すること。
- (3) 広域行政の推進に係る総合調整に関すること。
- (4) 秘書に関すること。
- (5) 広報及び報道機関との連絡に関すること。
- (6) 広聴及び市民相談に関すること。
- (7) 人権、非核平和及び男女共同参画施策に関すること。

<部の職員数>H26年4月1日現在

正職員	41名
再任用職員	4名
任期付職員	-名
非常勤職員	6名
合計	51名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

■基本方針■

市民満足度を高め、「住みたい・住み続けたいまち」から「市民が誇れるまち」へと飛躍していくために、長期的な視点に立った行政運営を行うとともに、市の情報を広く発信し、市民の声を的確に市政に反映していくことが必要です。

また、恒久平和の実現やまちづくりにおける一人ひとりの人権の尊重は普遍的に取り組まなければなりません。

平成 26 年度は、まちづくりの長期的基本指針となる総合計画の策定に本格的に取り掛かるとともに、広く市民の声を聴き、その声を施策につなげていきます。合わせて、市民生活に関わる様々な情報や都市ブランド「健康医療」「教育文化」にかかわる施策を幅広いメディアを活用して市民や市外の人に分かりやすく伝えることができるよう、全庁的な情報発信力の向上をめざします。

また、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代に伝えるため、平和施策を進めるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組み、さらに、性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現をめざし、周知・啓発に取り組めます。

I 重点施策・事業

◆第5次枚方市総合計画の策定

長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的な行政運営を行うため、平成 28 年度を始期とする第5次枚方市総合計画の策定に引き続き取り組みます。

◆広報機能の充実

市ホームページ スマートフォン専用サイトの開設や視覚的に見やすいデザインページの作成、速報性や手軽さといったホームページの特性を活かす取り組みを進めるとともに、情報の整理を行い欲しい情報を見つけやすいホームページをめざします。また、昨年に引き続き各課職員対象の操作研修を実施します。

広報ひらかた 幅広い世代に広報紙を読んでもらえるよう、平成 25 年度に引き続き子どもや若者などが手にとってもらえるような紙面づくりを行うとともに、記事の分類など読む人が情報を探しやすい紙面づくりに努めます。

情報発信リーダー 情報発信リーダー会議や研修を通して各部署の情報発信力を強化し、市の施策や魅力、イベント情報などの積極的かつ効果的な発信に取り組めます。

情報発信に関するアンケートの実施 市民3000人を対象に広報紙やホームページをはじめFMひらかた、ケーブルテレビなど情報発信ツールの活用や傾向について総合的なアンケートを実施し、分析結果を今後活かしていきます。

◆ひらかた便利帳の発行



中核市移行に伴い5年ぶりにひらかた便利帳(写真)を発行し全戸配布します。民間事業者との共同発行により広告収入で経費を賄います。窓口や手続き案内に加え、市の魅力や

地域の医療情報、防災情報なども掲載。保存版として、これまで以上に市民に役立ち喜ばれる冊子をめざします。

◆市民と市長との対話の実施

市民との対話を重ねながらまちづくりを進める取り組みとして、さまざまな活動をしている団体と市長が対話する「ひらかた未来トーク」を実施し、引き続きより幅広い市民との対話を進めていきます。

◆人権施策及び平和施策の推進

人権が尊重されるまちづくりの実現に向け、より多くの市民が、人権問題を身近に感じ考える機会となるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。

また、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えるため、3月1日が枚方市平和の日であることから、3月を平和月間と位置づけ平和フォーラムや平和の燈火(あかり)を中心とした平和推進事業を展開します。



児童が平和メッセージを発表する様子

◆男女共同参画施策の推進

すべての市民が性別にかかわらず尊重され、仕事と生活のあり方をさまざまに選択できる社会をめざして、さまざまな啓発事業や相談事業に取り組みます。また、平成28年度を始期とする第3次枚方市男女共同参画計画の策定に向けて、その基礎資料となる市民意識調査を実施します。

◆DV被害者の支援

潜在的な被害者の救済にもつながるよう、DV相談窓口カードの配布協力施設を増やし、公用車等にマグネット広告を掲示するなど、枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」の一層の周知・啓発に取り組むとともに、連絡会議や支援者講座を通して関係機関や地域の支援者との連携を強化します。

Ⅱ 行政改革・業務改善

＜行政改革実施プラン(前期)の改革課題＞

改革課題	取り組み内容・目標
1. 広報機能の充実	SNS についてはツイッターによる情報発信をより積極的に行う。ホームページはスマートフォン専用サイトの開設や視覚的にデザインした魅力あるサイトへの改善など利用者ニーズを考えた改善に取り組む。広報ひらかたでは引き続き若者を対象とした記事を掲載し、市政に興味を持つきっかけ作りとする。

4. 広聴機能の充実	前年度に整理を行った市政モニターリング制度を庁内各課に周知していく。
5. 新たな情報提供サービスの開始	ダイヤルイン運用開始後の状況等を踏まえ、本市におけるコールセンター設置に係る費用対効果を明らかにし、導入に向けた具体的内容を取りまとめる。
6. 施策評価制度の確立	これまで蓄積してきた情報等を有効に活用するなど事務の効率化と評価の充実を図る。また、外部評価員からの意見を次期総合計画策定につなげる。
15. 新総合計画の策定	第5次枚方市総合計画の策定に向けて、引き続き取り組みを進める。
16. 施策における「選択と集中」のシステムづくり	施策単位の課題を確認できる様式への変更や事業計画公開時には表示を工夫するなど、昨年度試行した内容を踏まえ本格実施を行う。
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の中期的な「経営プラン」を平成27年度までに策定するよう求めていく。
30. 都市間連携の充実	市民サービスの向上につながる広域連携の取り組みについて、近隣の自治体との意見交換や先進事例の研究に努める。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
市内高等学校長・市長懇談会事務	実績とその成果を検証し、取り組み内容を検討する必要があると指摘を受け、この間、市内の中学校と高校との連携が個別で進んでおり、本事業の役割は果たしたことから、廃止した。

市政モニター実施事業	IT 媒体を利用した簡易で迅速に結果が得られるアンケートの検討が必要との指摘については、携帯電話やスマートフォンを活用する簡易なアンケートを実施する。また、モニター実施後の意見の施策への活用についての指摘については、事業の改善や充実に結び付けていけるよう、事業の改善点や課題にかかる調査項目の設定を促す。さらに、整理を行った市政モニターリング制度を庁内各課に周知していく。
市民相談事業	相談メニューや内容などに関し精査が必要との指摘があったが、様々な悩みを持つ市民が安心して生活を送れるよう、引き続き、増加する複雑多様な相談に他機関と連携を図りながら対応していく。

<業務改善運動のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> 各種啓発事業を行うにあたり作成するポスターやチラシの印刷枚数を、過去の配布実績を元に精査し、コスト削減に努める。 消灯の徹底、パソコンを使用しない時は、蓋を閉めることや電源プラグを抜くことなどに努める。
ワークライフバランスの推進	ワークライフバランスを推進するため、効率的な事務執行を図り、時間外勤務の縮小に努める。
業務効率の向上	職場の整理整頓を行い、業務効率の向上に努める。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆平成 26 年度予算の編成において、FMひらかた放送委託料を対前年度比 311 万円削減
- ◆広告収入で発行経費を賄う形で便利帳を発行。印刷・配布経費を伴う形で便利帳を発行した平成 19 年度比で約 1300 万円の削減
- ◆安定した広告収入の確保（予算ベース）
市政情報モニター 年間約 250 万円
バナー広告 年間約 169 万円
広報ひらかた広告 年間約 574 万円

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆災害時の情報発信体制をより確実なものにするため、昨年度作成した情報発信方法などについての詳細マニュアルを見直すとともに、ホームページの操作方法の研修などを実施します。
- ◆部内各課の重点事業についての研修会を開催し、市の業務に対する幅広い知識や視野の向上を図ります。

Ⅴ 広報・情報発信

◆ホームページの充実

フォトニュースなど広報課職員が直接取材した催しなどは原則、翌日までに掲載するよう努めるなど、より迅速な情報発信に努めます。

◆DV相談窓口の周知

DV相談窓口カード（写真）の配布協力施設等を増やし、公用車等にマグネット広告を掲示するなど、枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」の一層の周知に努めます。



◆「市長室へようこそ」の充実

写真とともに市長の公務の様子を紹介している「フォトレポート」について、更新回数を月 1 回から 2 回に増やし、市長の動向や考えをより迅速に発信していきます。